

平成30年7月豪雨(西日本豪雨)



行方不明者の捜索

7月5日～7日の豪雨により、本市において多大な被害(死者2名、行方不明者1名、全半壊2棟、床上浸水19棟、床上浸水98棟、橋梁落下7橋、河川道路被害15・7億円、農林道施設被害6・5億円、その他3・2億円、総計25・4億円)がありました。これは、平成22年7月被災(床上浸水3棟、床下浸水77棟、河川道路・農林業施設被害3・4億円)に比べても大規模なもので、特に、甲田・向原地区では、これまで経験したことのない甚大な被害でした。



損壊した橋梁



崩落した道路

経過としては、7月5日「洪水警報」が発表され、直ちに安芸高田市災害対策本部を設置しました。その後、多治比川が危険水位に達したため、吉田町の一部(吉田・相合・多治比)に「避難勧告」を発令しました。また、高宮町川根で男性が川に流されたとの通報を受け、消防団・警察・消防署による捜索を開始し、

可能としました。住宅等が被災し居住が困難な市民に対し、市営住宅等の提供を行い4世帯の方に利用していただいております。15日には行方不明者1名の死亡が確認されました。被災による犠牲者に対し、心よりご冥福をお祈りいたします。なお、行方不明者1名の捜索は全力を挙げて行う一方、残念ながら発見に至っておりません。18日、広島県危機管理監の仲介により、自衛隊ヘリコプターに同乗し、空から市内の被災状況、土石の状況を確認しました。このことは、今後の防

6日行方不明者の死亡を確認しました。同日、「洪水警報」及び「土砂災害警戒情報」、「大雨特別警報」が発表され、市内全域に土砂災害に係る「避難勧告」、江の川と三篠川流域に洪水に係る「避難勧告」を発令するとともに、氾濫の危険度が高い、多治比川周辺の吉田町の一部(中原・沖原・甲田)と簸の川周辺の八千代町勝田(特定の世帯)に対し「避難指示」を発令しました。7日によりやうく各種警報が解除され、発令していた「避難勧告」、「避難指示」を解除しました。この間、向原町坂では行方不明者が2名いるとの通報があり、消防団・警察・消防署による三篠川の捜索を開始しました。各種警報解除の後、長い間の降雨により地盤が緩み土砂災害の危険性があるため、市内全域にお太助フォン放送で注意喚起しました。8日以降も、市災害対策本部は継続し、行方不明者等の捜索、被災の状況把握を進めてきました。6日～8日の間、「避難勧告」や「避難指示」による市民の避難状況は、延べ573世帯1198人でした。市民の皆様が防災意識を高め、早めの対応にご協力いただきました被害抑止の行動に感謝を申し上げます。

災行政に生かせることを実感しました。19日に湯崎広島県知事が、災害見舞と状況確認のため、本市を訪問され、被災状況の説明を聞かれた後、被災した橋梁等の現地視察を行われました。特に老朽化した、ため池等の安全性の対応に関し注目されました。

7月25日、災害対策本部会議において、次期降雨による二次災害の想定と対応を指示しました。その中で、被災した河川・橋梁・道路、土砂流失、ため池等の安全



決壊しそうなため池

道路の通行止めは、県道9路線、市道23路線におよび、一時空港や広島市への交通アクセスに支障がありました。7日に全て解消しました。被害の大きい甲田・向原地区においては、6日～7日にかけて1331戸の断水が発生し、給水車等による対応を行いました。早急に対策工事を施し10日に断水は解消しましたが、広島市の要望により、広島市民への給水支援を21日まで実施しました。また、9日から被災ゴミの受け入れを開始し、甲田地区(旧小田東小学校)、向原地区(運動場広場)において被災ゴミの受け入れ対応を行いました。他の地区の被災ゴミに対しても、甲田・向原への受け入れを

を検証するため現場を再度調査し、先に調査した次期降雨による二次災害の危険と思われる75世帯(159人)を抽出し、関係世帯の皆様には災害の危険性を周知しました。(甲田・河川災害25世帯、土砂災害1世帯、向原・河川災害28世帯、土砂及びため池災害10世帯、吉田・土砂及びため池災害3世帯、美土里・土砂災害1世帯、高宮・土砂及びため池災害7世帯)

広島県災害対策本部の解散や応急対応の状況に鑑み、8月17日、第47回目の市災害対策本部会議をもって本部体制を解散しました。なお、橋梁落下による芸備線や生活関連道路の早期復旧や行方不明者の捜索、早期の災害復旧のため、新たに「災害復旧対策本部」を設置しました。この度の一連の災害対応・対策を通して幾つかの課題が明確になりました。今後は課題解決に向け、ハザードマップを通じた避難の必要性や避難場所の周知徹底、ため池等の安全確認の徹底を行い、外国人移住者に対する災害時の対応については、平素から想定・対応を準備しておく必要があると、行政として再認識をしたところであります。



集積した被災ごみ



決壊した護岸



広島市への給水